



笑顔が溢れるまちにしたい

鳥羽商工会議所かもめホールで4月2日、新卒就職者激励会が行われ、市内の事業所などに今春就職した83人が出席しました。

式典では、木田市長が「笑顔を忘れずに自分は幸せだと考え、一日一日を大切にしてください」と出席した若者を激励しました。また、新卒就職者たちは「笑顔を絶やさず感動してもらえよう心掛けたい」「自分の言動に責任を持って頑張っていきたい」など一人ずつ抱負を述べました。



監的哨の耐震工事が終了しました

老朽化に伴う耐震工事のため、立ち入りが禁止となっていた監的哨(神島町)の工事が終了し、4月1日から内部への立ち入りができるようになりました。

監的哨は、旧陸軍が伊良湖から撃つ大砲の試射弾の着弾点を監視した施設ですが、三島由紀夫の小説「潮騒」の舞台にもなったことから、島の観光スポットになっています。

また、定期船乗り場近くに整備していた「潮騒公園」も完成し、「三島文学・潮騒の地」を伝える記念碑や関連スポットなどを紹介するパネルを設置しました。



子どもたちに下敷きをプレゼント

4月3日、三重県トラック協会南勢支部の南英雄支部長が市教育委員会を訪問し、新入学児童への交通安全啓発下敷きを寄贈しました。

下敷きの寄贈は、子どもたちが交通規則について興味を持ち、交通事故に遭遇しないようにとの願いが込められており、平成23年度から引き続いて実施されています。今年度は市内の9校、150人の子どもたちの元に、さまざまな車両のイラストが入った下敷きが贈られました。



「ゆめぱー」がオープンしました

市障がい者福祉センター「ゆめぱー」が船津町に完成し、4月1日から利用が始まりました。

ゆめぱーでは、障がい者を日中に受け入れ、食事や入浴の介助をしたり、趣味活動の場を提供する生活介護事業を行っています。また保健福祉センターで展開していた日中一時支援事業いたずらっこなどの障がい者関連事業も一体的に行います。

「ゆめ」は夢、「ぱー」は真珠を表し、障がい者のみなさんに夢を与え真珠のように多くの人々に親しまれる素晴らしい空間にと願って、この名前が付けられたそうです。